

学位論文審査の結果の要旨

Nova Anika

本研究は、発展途上国における農業地域のコメ生産システムと水生産性の現状を構造方程式モデル (SEM) と水収支解析によって検討したものである。対象地域としてインドネシア国スマニ川流域を事例とした。SEMによる地域分析の結果、灌漑設備の整備状況と農家集団の組織化が今後のコメ生産に大きく寄与する要因であることが示され、水収支解析からは対象地域の将来予測として、灌漑設備の高度化による水利用効率の向上が重要であることが示された。特に、コメ生産における水生産性が評価され、本流域における灌漑開発は、乾季の生産量の向上につながることを示された。これらの知見は、東南アジアのコメ生産を中心とする地域開発研究に大きく寄与するものである。

以上のように、本論文は、多くの新しい知見を有すること、論文の内容、構成および公表論文数などから、本学位論文審査委員会は、全員一致して、本論文が博士（農学）の学位論文として十分価値があるものと判断し、合格と判定した。

なお、指摘により審査委員会はコメ生産システムの評価のみならず、水資源のコメ生産性が本論文において極めて重要な要素であることを認め、タイトルを“Assessment of Rice Production System and Water Productivity in Sumani Watershed, West Sumatra, Indonesia”に変更することを承認した。

最終試験の結果の要旨

Nova Anika

最終試験は、平成30年6月28日に東京農工大学農学部にて、学位論文の公開発表に引き続き、論文審査委員により行われた。最終試験では学位論文の専門領域に関する質疑応答がなされた。その結果、本審査委員会はNova Anika君が自立して研究をすすることができる学力と見識を有しており、博士（農学）の学位を授与するに足る資格があると認め、最終試験を合格と判定した。